



TOPICS

Urban Data Challenge 2017



➤ アーバンデータチャレンジのご紹介

G空間情報センターを運営する（一社）社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）では、2013年から、「アーバンデータチャレンジ（UDC）」という活動を継続しています。これは、コンテストに向けたディスカッションやオープンデータを用いた地域課題解決の事例報告のワークショップ等を通じて、オープンデータやビッグデータの整備・利活用、データを活用した地域課題の解決に取り組む活動です。

➤ 2017年の取組み予定

40の地域拠点（都道府県ブロック）を活動の核として地理空間情報の流通や利活用を日本各地でさらに促進すると共に、地域拠点内での横展開の強化など活動の活性化にも力を入れていきます。また、活動への資金面のサポートとして、スポンサー制度を導入します。

➤ 地域拠点活動

全国各地で地域拠点コーディネーターが中心となりアイデアソンやハッカソン、まち歩きイベント等を開催し、地域課題の発掘や、課題解決のためのアイデア創出、ツール開発を行っています。

➤ センターとの関わり

一部地域拠点での活動において、センターの登録データを活用頂く、ワークショップ等に向け新たに整備されたデータをセンターに登録頂く等の活用がされています。

（参考）<http://urbandata-challenge.jp/>

アクセス状況

➤ アクセス数

- ✓ 登録ユーザー数： 1,549 名
(2017年7月2日時点)
- ✓ 期間アクセス数： 128,675件
(集計期間：2017年5月1日～6月30日)

➤ 登録データ

- ✓ 登録団体数： 62 団体
- ✓ データセット数： 585 セット
- ✓ 総データ量： 15 T B

上位アクセスデータ

集計期間：2017年5月1日～6月30日

1. 将来人口・世帯予測ツール/利用規約
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
2. 将来人口・世帯予測ツール/将来人口予測結果イメージ
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
3. 将来人口・世帯予測ツール/01 北海道
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
4. 強震断層モデル(1)データセットA/(1)データセットA
(内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会)
5. 強震断層モデル(4)工学的基盤における強震動波形/利用規約
(内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会)
6. 強震断層モデル(4)工学的基盤における強震動波形/波形データについて
(内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会)
7. 松江駅構内人流センサデータ 2017年1月/2017年1月3日
(人流解析チーム)
8. 将来人口・世帯予測ツール/13 東京都
(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
9. (1) 南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告断層パラメータ/断層パラメータ
(内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会)
10. リアル3D都市モデル/サンプル画像 (品川)
(アジア航測株式会社)

お知らせ

- 2017.6.24 【公開】都道府県別メッシュ（1km、500m、250m）とメッシュ作成アプリを公開しました。
- 2017.6.9 G空間情報センターにおけるオープンデータ等の無償掲載サポートのお知らせ
- 2017.6.5 【公開】松江駅構内人流センサデータ、2017年5月分を公開しました。
- 2017.6.1 MyCityForecastのカスタマイズ機能の有償プランリリースのお知らせ
- 2017.5.30 【販売】インドネシア共和国バリ島旅行者1/4メッシュデータの販売のお知らせ
- 2017.5.19 【更新】将来人口・世帯予測ツール（人口情報メッシュ配分プログラム、予測結果簡易描画プログラム）を更新しました。
- 2017.5.15 【公開】G空間情報センターニュースレター（2017年5月）を公開しました。
- 2017.5.8 MyCityForecastのカスタマイズ機能の有償提供開始予定のお知らせ

コンテンツ紹介

Pick UP!! “静岡県CS立体図”

静岡県 森林計画課

「CS立体図」は、長野県林業総合センターが考案した微地形表現図です。航空レーザ測量成果をもとに、森林総合研究所大丸氏が作成した「CS Map Maker」を使用して作製しました。



インデックス

■仕様

- 位置情報付き画像ファイル
(TIFF形式ファイル及びワールドファイル)
- 測地成果2000 平面直角座標系第Ⅷ系

■プレビュー

位置情報付き画像ファイルですので、地理情報システム (GIS) 等ですすぐにご利用いただけます。

注目の新規登録データ

・ Get Mesh!!

(ネオプランニングラボ株式会社)
2017年6月24日登録

地図上で好きな範囲を設定し、メッシュポリゴンを作成するアプリです。一次メッシュから50mメッシュまで対応しています。

・ 都道府県別メッシュ

(1km、500m、250m)

(ネオプランニングラボ株式会社)
2017年6月24日登録

都道府県別のメッシュポリゴンです。フォーマットは、csvとGeoJSONです。内閣府の地震データと合わせて使えます。

G空間情報センター活用Q&A

Q) G空間情報のキーワード検索の仕方としくみについて教えてください。

A) G空間情報センターのトップページ中央部分からキーワード検索をすることができます。

「カテゴリ」「エリア」「キーワード」と並んでいるところの「キーワード」をクリックし、ボックス内にキーワードを入れて検索ボタンを押します。

- 検索の仕組みはAND検索になっています。カテゴリ、エリアを選択して絞り込み、またキーワードを入れることで更に絞り込みを行うことができます。
- 検索結果が表示された後、更に絞りこみを行いたい場合は、その画面上部にあるボックス（虫眼鏡マークがあるところ）に、追加でキーワードを入れることにより絞り込み検索を行うことができます。
- 初めから複数のキーワードで検索を行いたい場合は、それぞれのキーワードを “” で囲って検索することができます。

詳しくは「このサイトの使い方 > 2.G空間情報を探す > 2.2キーワードから検索する」を参照ください。

<https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/gic-manual/operationmanual2.pdf>

センター運営担当者レポート

- G空間情報センターでは、国・地方公共団体が保有する地理空間情報だけでなく、民間企業が保有する地理空間情報の公開・提供を支援しております。また、オープンデータや無償の公開だけでなく、11社（平成29年6月時点）の有償データの販売も行っております。今後も、有償・無償、国・地方公共団体・民間企業など、幅広い地理空間情報を扱ってまいります。
- 災害時における被災地支援等の活動に対して、各社の保有するデータの優先的なご提供にご協力頂くための手続きとして、「災害対応または減災に資する活動に対する情報提供に関する協定」を5社（平成29年6月時点）と締結しています。また、これら民間データ（有償データ）を利用するにあたり、災害情報ボランティアを中心に、「災害対応または減災に資する活動に対する情報利用に関する協定」を5社（平成29年6月時点）と締結しています。こうした情報提供者と利用者との相互の連携を事前に確認することで、災害時・非常時におけるスムーズな情報提供・災害対応の支援に貢献してまいります。G空間情報センターに登録されるデータの保有者に対するデータの扱い方法や販売の契約、災害時にセンターのデータを利用する際の関連機関との協定締結を担当しています。より多くのデータ保有者・利用者皆様のニーズを反映し、地理空間情報の流通を支援してまいります。（アライアンス担当）